

出資法人等評価・カルテシート（平成 28 年度分）

1 出資法人等の概要

団体名	公益社団法人 豊中市シルバー人材センター		
所在地	北桜塚 3-1-28	所管部局・課	市民協働部 くらし支援課
設立年月日	昭和 56 年 6 月 30 日	代表者	理事長 高塚準一郎
基本金・資本金		うち市出資額（率）	円（ %）
設立目的	定年退職者等の高年齢退職者（以下「高年齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務（当該業務に係る労働力の需給の状況、当該業務の処理の実情等を考慮して厚生労働大臣が定めるものに限る。）に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。		

2 役員・職員関係

各年 4 月 1 日現在

		H26			H27			H28		
		市派遣	市OB		市派遣	市OB		市派遣	市OB	
役員	常勤	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	非常勤	11	1	1	11	1	1	11	1	1
職員	常勤	7	0	0	7	0	0	7	0	0
	非常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員の平均年間報酬（H27年度、千円）※常勤のみ		0 円			職員の平均年間給与（H27年度、千円）・平均年齢 ※常勤のみ			7,254 千円・53.4 歳		

3 財務関係

		金額（千円）		
		H25	H26	H27
損益計算書	総収入	718,154	784,380	748,399
	（うち市受入金）	41,700	40,600	39,600
	総費用	720,098	772,766	753,721
	経常損益	▲1,943	11,614	▲5,322
	当期損益	▲1,943	11,614	▲5,322

		金額（千円）		
		H25	H26	H27
貸借対照表	資産の部合計	156,984	189,150	190,116
	負債の部合計	81,792	102,345	108,632
	（うち有利子負債）	0	0	0
	純資産	75,192	86,805	81,484
	利益剰余金	75,192	86,805	81,484

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		H25	H26	H27	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	41,700	40,600	39,600	
	事業費	41,700	40,600	39,600	
	運営費				
	委託料	107,650	163,031	167,595	放置自転車等一括業務、ペットボトル搬送業務など
	指定管理委託料				
	その他				
計					
ストック	貸付金残高				
	債務保証残高				
	損失補償残高				
	出資金				
	その他				
計					

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	H25	H26	H27
就業機会確保事業	会員に就業機会の提供 仕事に契約まで至った件数	就業率	77.0%	82.6%	78.7%
		契約件数	11,930件	11,984件	11,607件
労働者派遣事業	会員に就業機会の提供	延べ就業人数	12,426人	4,782人	15,672人
		事務手数料	4,492千円	5,277千円	6,989千円
無料職業紹介事業 H26 から有料職業紹介	会員に就業機会の提供	延べ就業人数	165人	15人	15人
普及啓発事業	会員に就業機会の提供 仕事の依頼があった件数	粗入会率	1.5%	1.4%	1.4%
		申込件数	12,964件	12,814件	12,515件

(2) 財務指標

指標	視点	内容	H25	H26	H27
市受入金比率 市受入金／経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	5.81	5.18	5.29
人件費比率(%) 人件費／経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	13.54	11.67	13.59
管理費比率(%) 管理費／経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	1.19	1.03	1.19
正味財産比率(%) 正味財産合計／(負債＋正味財産合計)×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	47.90	45.89	43.86
固定比率(%) 固定資産／正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表します。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	38.65	43.39	45.41
流動比率(%) 流動資産／流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	219.77	215.54	198.96

(3) その他

ア 給与体系

区分	<input type="checkbox"/> 独自体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の体系を準用 <input type="checkbox"/> その他 ()
見直し予定	<input checked="" type="checkbox"/> 予定あり (28年度予定) <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 済み (●年●月)

イ 情報公開

公開ツール	<input type="checkbox"/> ホームページ (URL :) <input type="checkbox"/> 広報紙 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所備え付け <input type="checkbox"/> その他 ()
公開内容	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告 <input checked="" type="checkbox"/> 経営計画 <input checked="" type="checkbox"/> 財務諸表

ウ 指定管理者の状況

施設名	指定管理期間	備考

6 経営上の課題

- ・会員の粗入会率(豊中市の60歳以上の人口から算出)が1.40%(男性2.22%、女性0.76%)であり、ここ数年伸び悩んでいる。また、定年延長の影響もあり60歳台の入会者が少なく、現会員の高齢化もあり、発注者ニーズにあった就業のマッチングが困難になってきている。特に、女性の入会数が低く、入会促進が急務である。いずれにしても、性別に関係なく、会員の増強は喫緊の課題である。
- ・また、既入会会員の高齢化(後期高齢会員)への対策も必要になっている。
- ・法人設立から35年が過ぎ、次々に法人職員の定年を迎える時期に来ている。そのため、事務局組織の再構築等行う時期が、待ったなしの状況に来ている。

7 経営改革の取り組み(平成27年度)

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
中期事業発展計画の具体化と実行	計画の目標達成に向け、各種委員会・部会等が中心となり事業を進めてきた。 また、目標数値に届かない会員数についても、会員増強・獲得に向けた新たな事業展開等、少しでも目標に近づけるよう検討した。	計画の目標達成に向け事業を進めてきたが、事業実績等についてはおおむね目標数値等達成できていると考える。 しかしながら、公益社団法人として重要な会員数が伸びてこないことについて、原因の分析と新会員の獲得、退会会員の歯止め等の方法を検討し、即、実施をしていく。

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
<p>必要性</p> <p>・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか</p>	<p>高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、臨時的・短期的あるいは軽易な業務を、「請負・委任契約」「一般労働者派遣事業」「有料職業紹介事業」などにより、高齢者に見合った就業の機会を「グループ就業」「ローテーション就業」などとして提供することにより、生きがいづくり、社会参加、健康の保持など高齢者が参画できる場の提供をおこなっている。</p>	<p>企業における定年延長などが定着してきている中、その対象となった世代が65歳に到達してきている。</p> <p>会社から地域社会へと生活の基盤の移動が始まっていくことから、センターの役割も大きくなっていると考えます。</p> <p>地域入会説明会の積極的な開催、チラシ、CATV、講演会等を活用し、引き続き、新規会員の入会の促進と仕事の開拓に努めていく。</p>
<p>効率性</p> <p>・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか</p> <p>・組織体制、人事給与水準は適正か</p>	<p>会員の経験・能力を活用した事務局体制づくりと組織内の活性化を実施。</p> <p>事務局内の内部牽制体制の確立。</p>	<p>平成27年度決算では若干の赤字が生じた。引き続き事業実績の拡張に努めるとともに、事務局内の人員については会員の活用や給与の適正化の推進など運営経費についてはなお一層の縮減に努める。また、連合補助金を十分活用し、当事業の発展に努めていく。</p>
<p>有効性</p> <p>・意図する成果に有効に結びついているか</p>	<p>新入会員の入会動機が、「生きがいづくり」から「経済的な理由」に変化してきている。</p> <p>当センターは、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、「請負・委任契約」「一般労働者派遣事業」「有料職業紹介事業」などを行うことができることから、多種多様な会員の希望に応えるとともに、発注者のニーズにも多様な方法で対応している。</p>	<p>法令順守の中で、発注者の多種多様なニーズに応えていけるように努めていく。</p> <p>センター事業の目的達成に向け、従来からの業務の充実強化と新たな活動分野の開拓等に努めていくとともに、センターに依頼される仕事は、可能な限り受注し就業につなげたい。</p> <p>そのためにも、更なる会員数の増強に努めるとともに、既存の会員には、希望職種を見直し新たな仕事にチャレンジするよう促していく。</p>
<p>総合評価</p>	<p>関係法令を順守し、会員はもちろんのこと、一般市民の参加もできる講演会・講習会等の開催をはじめ、開かれた組織運営を展開した。</p> <p>ハローワークにおいて、60歳以上の雇用の場が非常に少ないと聞かすが、当センターのような臨時的・短期的あるいは軽易な業務ではあるが、高齢者が働く場を提供することにより、社会参加でき、いつまでも健康でいられることなどの目的達成ができた。</p>	<p>超高齢社会といわれる今、このセンター事業は、地域の高齢者が地域の中で活動していき、働くことで生きがいと健康の保持につながっている。また、65歳以上の高齢者にとっては、現実問題として就労が厳しい面もあるが、多様で柔軟な就業形態として、頼れる存在の一つとして、この事業は大変重要であり、会員等の満足度を高めていくことに加え、会員のみならず、一般高齢者、市民、事業所などより多くに人が参画できる魅力あるセンターづくりに努めたいと考える。</p>

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<p>団体の存在意義 (必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資目的は薄れていないか ・市の施策の方向性に適合しているか 	<p>高齢者等の雇用の安定等に関する法律（以下単に「法」という。）に基づき、定年退職者等の高齢退職者（以下「高齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいつくり、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的で設立されており、これらの目的達成に向けた取組みを行っています。</p>	<p>今後、高齢者がますます増加していくという社会状況を受け止め、高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、社会ニーズに迅速かつ適切に対応していただき、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりへの寄与を一層推進していただきたいと思います。</p> <p>新規入会者の増加については、さまざまなメディア・ネットワークを活用し取り組んでいただきたいと思います。</p>
<p>団体の活動領域 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資法人等を活用するメリットはあるか ・出資法人等にしかできないことか 	<p>法により、高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいつくり、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的で設立されており、これらの目的達成に向けた一層の取組みを期待しています。</p>	<p>平成27年度決算は赤字となったが、引き続き事業実績の拡張及び運営経費の縮減に努め、市民の信頼を維持・増進し、今後、増加していく高齢者のニーズに適うよう、その目的達成に向けて、新たな活動領域の開拓等を着実に遂行していただきたいと思います。</p> <p>また、今後一層高齢者の雇用労働施策の進展に、市や関係団体等と緊密に連携して、迅速かつ的確に対応していただきたいと思います。</p>
<p>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか ・市の関与は適切か 	<p>高齢者の就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その就業を援助して、これらの者の生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりへの寄与は、市の施策の推進と同方向を示しています。</p> <p>なお、上記目的を達成するため、補助金及び役員（理事）派遣等の支援を行っていますが、経営改善並びに会員数の増及び会員の満足度を一層進めていただきたいと思います。</p>	<p>高齢者の就業機会の確保や、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進、さらに高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりは、重要な施策の推進であるので、経営改善並びに会員数の増及び会員の満足度など、中期事業発展計画で示された目標達成が実現できるよう、市の関連施策と緊密な連携を行い、一層進めていただきたいと思います。</p> <p>また、今後の高齢者の就業機会の確保等については、新たな中期事業計画の策定も含め、市及び関係団体とこれまで以上に協働して取り組みを進めていただきたいと思います。</p>

総合評価

法の目的を達成するよう、法が認める活動領域で、就業援助、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに一層の寄与・貢献を図っていただきたいと思います。

また、中期事業発展計画に掲げられた目標は、必ず達成するよう、これまで以上の展開を望みます。

高齢化が進む一方、地域経済の発展が困難な中で、就業援助、生きがいの充実、健康の保持増進、社会参加の推進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりが求められています。シルバー人材センターには、これまで以上に期待が寄せられるところです。

そのためには、新たな活動領域の開拓や、事務の効率化や営業体制の強化を一層進めるとともに、会員のみならず広く市民や事業者を対象とする事業を行うことなどにより、中期事業発展計画を着実に遂行していただき、また新たな中期事業計画に繋げていただきたいと思います。